

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 ローランド株式会社

コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部・経理部担当 (氏名) 中村 健也

TEL 053-523-3652

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 大

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	58,020	6.7	1,802	—	572	—	△828	—
22年3月期第3四半期	54,368	△31.2	△1,107	—	△942	—	△1,967	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△34.85	—
22年3月期第3四半期	△78.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	80,687	64,904	59.6	2,022.08
22年3月期	81,675	68,277	62.8	2,157.75

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 48,101百万円 22年3月期 51,329百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	12.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,400	4.5	1,900	—	500	—	△800	—	△33.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料6ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 25,572,404株 22年3月期 25,572,404株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,784,356株 22年3月期 1,783,960株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 23,788,364株 22年3月期3Q 25,107,982株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在においての経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(第3四半期連結累計期間)	9
(第3四半期連結会計期間)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績

(単位：百万円)

	第3四半期連結会計期間(3ヶ月)			第3四半期連結累計期間(9ヶ月)		
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率
売上高	18,882	18,748	△0.7%	54,368	58,020	+6.7%
電子楽器事業	11,391	10,879	△4.5%	32,904	33,869	+2.9%
コンピュータ周辺機器事業	7,490	7,869	+5.1%	21,463	24,150	+12.5%
営業利益又は営業損失(△)	472	304	△35.6%	△1,107	1,802	—
電子楽器事業	△175	△183	—	△1,627	△369	—
コンピュータ周辺機器事業	647	487	△24.7%	519	2,171	+318.2%
経常利益又は経常損失(△)	690	162	△76.4%	△942	572	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146	△318	—	△1,967	△828	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	第3四半期連結会計期間(3ヶ月)			第3四半期連結累計期間(9ヶ月)		
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率
電子楽器	4,672	4,076	△12.8%	13,233	12,981	△1.9%
ギター関連電子楽器	2,124	2,149	+1.2%	6,510	6,668	+2.4%
家庭用電子楽器	2,457	2,640	+7.4%	6,828	7,849	+14.9%
映像・音響及びコンピュータ・ ミュージック機器	1,412	1,386	△1.9%	4,296	4,374	+1.8%
その他	724	626	△13.5%	2,034	1,994	△2.0%
電子楽器事業	11,391	10,879	△4.5%	32,904	33,869	+2.9%
コンピュータ周辺機器事業	7,490	7,869	+5.1%	21,463	24,150	+12.5%
合計	18,882	18,748	△0.7%	54,368	58,020	+6.7%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	第3四半期連結会計期間(3ヶ月)			第3四半期連結累計期間(9ヶ月)		
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率	平成22年 3月期	平成23年 3月期	増減率
日本	2,639	2,542	△3.7%	7,509	7,546	+0.5%
北米	3,193	2,953	△7.5%	9,928	9,885	△0.4%
欧州	4,011	3,506	△12.6%	11,468	11,370	△0.9%
その他	1,547	1,877	+21.3%	3,997	5,066	+26.8%
電子楽器事業	11,391	10,879	△4.5%	32,904	33,869	+2.9%
日本	882	931	+5.6%	2,621	2,731	+4.2%
北米	1,789	1,981	+10.7%	5,116	5,767	+12.7%
欧州	2,485	2,410	△3.0%	7,842	8,072	+2.9%
その他	2,333	2,547	+9.2%	5,883	7,579	+28.8%
コンピュータ周辺機器事業	7,490	7,869	+5.1%	21,463	24,150	+12.5%
合計	18,882	18,748	△0.7%	54,368	58,020	+6.7%

当第3四半期における当社グループを取り巻く環境は、日本国内では、企業業績や景気動向の先行き懸念を背景に個人消費は低調に推移しました。北米では景気の回復基調にはあるものの、そのペースは緩やかであり、欧州においても金融不安によって域内経済に不安定さが見られる等、厳しい経済状況が継続しました。一方、中国、ブラジルを中心とした新興国では、持続的な経済成長により需要が拡大しました。

このような中、電子楽器事業においては、コンテストや製品イベント等の需要を喚起する取り組みと、ショップ・イン・ショップのグローバル展開による流通網の拡充に引き続き注力しました。また日本国内では楽器店内に電子ドラムの体験コーナーを、北米では大型ショッピングモールに当社製品を体験できる移動型コーナーを展開する等、新たな顧客開拓を目指した取り組みも行いました。

製品別では、電子ピアノが新音源を搭載した製品の販売が伸長した一方、電子ドラムの販売が前年同期を下回りました。地域別では、アジアと中南米を含むその他地域で販売が伸長したものの、日本国内、北米及び欧州の主要市場では前年並みで推移しました。

結果、円高の影響も加わり、当第3四半期連結会計期間の売上高は108億79百万円(前年同期比4.5%減)、利益面では、生産量増加による原価率改善があったものの、海外子会社での円高に伴う仕入コスト増加もあり、1億83百万円の営業損失(前年同期は営業損失1億75百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間では、売上高は338億69百万円(前年同期比2.9%増)、3億69百万円の営業損失(前年同期は営業損失16億27百万円)となりました。

コンピュータ周辺機器事業では、ラインナップの充実を図ったVSシリーズを中心にプリンターが好調に推移した一方で、インク等のサプライ品は欧州を中心に販売が伸び悩み前年同期を下回りました。地域別では、メタリックシルバーインクを搭載したプリンターが好調に推移した日本や、アプリケーション提案等の営業活動が奏功した北米で前年同期を上回りました。欧州においても販売は底堅く推移しましたが、アジアにおいては在庫調整等の影響により僅かに前年同期を下回りました。

結果、円高の影響も加わり、当第3四半期連結会計期間の売上高は78億69百万円(前年同期比5.1%増)、利益面では、生産量増加による原価率改善があったものの、海外子会社での円高に伴う仕入コスト増加もあり、4億87百万円の営業利益(前年同期比24.7%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間では、売上高は241億50百万円(前年同期比12.5%増)、21億71百万円の営業利益(前年同期比318.2%増)となりました。

以上の結果、全体における、当第3四半期連結会計期間の売上高は187億48百万円(前年同期比0.7%減)、3億4百万円の営業利益(前年同期比35.6%減)となり、加えて円高による為替差損の発生や税費用の増加により、1億62百万円の経常利益(前年同期比76.4%減)、3億18百万円の四半期純損失(前年同期は四半期純利益1億46百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間では、売上高は580億20百万円(前年同期比6.7%増)、18億2百万円の営業利益(前年同期は営業損失11億7百万円)、5億72百万円の経常利益(前年同期は経常損失9億42百万円)、8億28百万円の四半期純損失(前年同期は四半期純損失19億67百万円)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間(※)における平均為替レートは、86円/米ドル(前年同期94円)、111円/ユーロ(同134円)、当第3四半期連結累計期間(※)では、90円/米ドル(前年同期95円)、118円/ユーロ(同129円)でした。

(※) 海外連結子会社の会計期間は1月～12月のため、当第3四半期連結会計期間は7月～9月、当第3四半期連結累計期間は1月～9月となります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

#### 【電子楽器事業】

##### [電子楽器]

シンセサイザーは、北米における大手家電量販店への導入等、新製品を中心に前年同期を上回りました。また楽器用アンプも、欧州とアジアを中心に電池駆動対応製品の販売が堅調であったため、前年同期を上回りました。一方で電子ドラムは、高額機種を中心に日本国内、北米及び欧州の主要市場において販売が減少し前年同期を下回りました。結果、円高の影響も加わり、電子楽器の売上高は、当第3四半期連結会計期間では40億76百万円（前年同期比12.8%減）、当第3四半期連結累計期間では129億81百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

##### [ギター関連電子楽器]

主力であるギター用エフェクターは、欧州と中南米で複数機能をもったマルチ・タイプの普及価格帯製品やボーカル用エフェクター製品を中心に販売が堅調に推移し、前年同期を上回りました。またエフェクター、アンプを一体化したオーディオ・プレーヤーや、マルチトラック・レコーダーの新製品も好調に推移しました。結果、円高の影響があったものの、ギター関連電子楽器の売上高は、当第3四半期連結会計期間では21億49百万円（前年同期比1.2%増）、当第3四半期連結累計期間では66億68百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

##### [家庭用電子楽器]

電子ピアノは、日本国内、欧州において「スーパーナチュラル・ピアノ音源」を搭載した製品が好調に推移し、北米においてもショッパ・イン・ショッパの展開に加え教育施設への製品導入がすすみ、前年同期を大きく上回りました。また電子アコーディオンも欧州を中心に販売が堅調に伸長し、売上規模は大きくないものの確実な市場成長が見られました。結果、円高の影響があったものの、家庭用電子楽器の売上高は、当第3四半期連結会計期間では26億40百万円（前年同期比7.4%増）、当第3四半期連結累計期間では78億49百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

##### [映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

業務用音響及び映像機器では、市場全体のデジタル化がすすむ中、ダウンサイジングを図ったオーディオ・ミキサーやビデオ・ミキサーの新製品が好調に推移し、前年同期を上回りました。これに対して、コンピュータ・ミュージック機器は、北米での販売減少が大きく、全体としては前年同期を下回りました。結果、円高の影響が加わり、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、当第3四半期連結会計期間では13億86百万円（前年同期比1.9%減）、当第3四半期連結累計期間では43億74百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

##### [その他]

日本国内及びアジアにおける通信カラオケ機器用音源の販売減少が大きく、その他の売上高は、当第3四半期連結会計期間では6億26百万円（前年同期比13.5%減）、当第3四半期連結累計期間では19億94百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

#### 【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、ラインナップの充実を図った新製品 VS シリーズや廉価な SP-i シリーズが好調に推移しました。また、これまで海外のみの販売であった昇華転写インク搭載プリンターを国内においても投入し、布地やバナー、タペストリー、のぼりといったソフトサイネージ（看板）への印刷需要の取り込みを図りました。これに対して、プロッタは、主力機種の販売が低調に推移し、工作機器は彫刻機やメタルプリンターが底堅く推移した一方、切削機で主力機種を中心に販売が伸び悩みました。またインク等のサプライ品も、欧州を中心に販売が伸び悩みました。結果、円高の影響があったものの、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、当第3四半期連結会計期間では78億69百万円（前年同期比5.1%増）、当第3四半期連結累計期間では241億50百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①当期末の資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較して9億87百万円減少し、806億87百万円となりました。その主な要因は、主として関係会社3社を新たに連結子会社としたことにより有形固定資産が10億25百万円、原材料及び貯蔵品が8億12百万円それぞれ増加し、投資有価証券等の投資その他の資産が21億32百万円減少したことに加えて、現金及び預金が17億60百万円減少した一方、商品及び製品が12億35百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して23億85百万円増加し、157億83百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が22億55百万円、未払法人税等が4億68百万円それぞれ増加した一方、賞与の支払いにより賞与引当金が5億25百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して33億73百万円減少し、649億4百万円となりました。その主な要因は、四半期純損失が8億28百万円、剰余金の配当が5億35百万円あり、また在外関係会社の前会計年度末である平成21年12月末から第3四半期会計期間末である平成22年9月末にかけての主要国通貨に対する円高進行を受け、為替換算調整勘定が17億33百万円減少したことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産、純資産それぞれの減少を受け、前連結会計年度末と比較して3.2ポイント低下し、59.6%となりました。

②当期のキャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	前第3四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,836	885	△1,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	811	△855	△1,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074	△522	552
現金及び現金同等物に係る換算差額	△209	17	226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,364	△475	△2,839
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	19,461	18,611	△850
現金及び現金同等物の第3四半期末残高	21,826	18,135	△3,690

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、181億35百万円となり、前第3四半期連結会計期間末に比べ、36億90百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、8億85百万円の資金の収入となり、前第3四半期連結会計期間と比べ19億51百万円の収入の減少となりました。その主な要因は、当第3四半期連結会計期間において、たな卸資産が大幅に増加したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、前第3四半期連結会計期間が8億11百万円の資金の収入であったのに対し、当第3四半期連結会計期間は8億55百万円の資金の支出となりました。その主な要因は、前第3四半期連結会計期間は定期預金の払戻による収入があったことに対し、当第3四半期連結会計期間は定期預金の預入による支出があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、5億22百万円の資金の支出となり、前第3四半期連結会計期間と比べ5億52百万円の支出の減少となりました。その主な要因は、前第3四半期連結会計期間において、返済により短期借入金が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月5日に公表しました通期業績予想につきまして見直しを行いました。なお、詳細につきましては、本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」で開示しています。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

適用している簡便な会計処理に重要なものではありません。また、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理は適用していません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。



### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	18,707,399	20,467,753
受取手形及び売掛金	10,311,136	10,013,453
商品及び製品	15,878,865	14,643,182
仕掛品	696,002	317,820
原材料及び貯蔵品	4,563,058	3,750,236
その他	5,184,012	5,543,210
貸倒引当金	△482,019	△393,386
流動資産合計	54,858,455	54,342,269
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	21,838,905	20,929,686
機械装置及び運搬具	3,460,259	3,440,163
工具、器具及び備品	10,964,072	10,916,384
土地	8,357,467	7,825,547
建設仮勘定	46,626	23,653
減価償却累計額	△25,646,534	△25,139,709
有形固定資産合計	19,020,796	17,995,726
<b>無形固定資産</b>		
のれん	71,985	126,542
ソフトウェア	1,068,157	1,373,705
ソフトウェア仮勘定	19,546	56,546
その他	85,546	85,619
無形固定資産合計	1,245,236	1,642,414
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,105,347	2,844,585
その他	3,550,063	4,952,628
貸倒引当金	△92,063	△101,824
投資その他の資産合計	5,563,347	7,695,390
<b>固定資産合計</b>	25,829,380	27,333,531
<b>資産合計</b>	80,687,835	81,675,801

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,762,426	3,507,364
短期借入金	737,365	422,987
1年内返済予定の長期借入金	4,062	42,486
未払法人税等	655,320	186,749
賞与引当金	621,041	1,146,354
役員賞与引当金	30,000	—
製品保証引当金	396,564	430,967
その他	5,055,510	4,779,412
流動負債合計	13,262,293	10,516,321
固定負債		
長期借入金	265,998	257,914
繰延税金負債	34,491	146,393
再評価に係る繰延税金負債	187,289	187,289
退職給付引当金	286,977	160,447
その他	1,746,378	2,129,725
固定負債合計	2,521,134	2,881,770
負債合計	15,783,427	13,398,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,801,182	10,801,192
利益剰余金	36,073,350	37,360,369
自己株式	△1,767,829	△1,767,421
株主資本合計	54,380,976	55,668,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△45,026	162,677
土地再評価差額金	△1,498,983	△1,498,983
為替換算調整勘定	△4,735,688	△3,002,540
評価・換算差額等合計	△6,279,698	△4,338,847
少数株主持分	16,803,129	16,948,143
純資産合計	64,904,407	68,277,708
負債純資産合計	80,687,835	81,675,801

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	54,368,145	58,020,164
売上原価	33,598,376	34,479,100
売上総利益	20,769,769	23,541,063
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	2,596,729	2,440,930
貸倒引当金繰入額	62,191	168,838
給料及び賞与	10,781,689	10,494,579
賞与引当金繰入額	252,124	276,821
役員賞与引当金繰入額	—	30,000
製品保証引当金繰入額	87,004	114,012
その他	8,097,827	8,213,192
販売費及び一般管理費合計	21,877,567	21,738,375
営業利益又は営業損失(△)	△1,107,797	1,802,688
営業外収益		
受取利息	121,709	86,255
受取配当金	71,694	79,713
為替差益	216,124	—
持分法による投資利益	47,713	—
その他	249,699	252,004
営業外収益合計	706,941	417,974
営業外費用		
支払利息	201,199	37,259
売上割引	273,797	474,223
為替差損	—	1,061,914
その他	66,847	74,542
営業外費用合計	541,844	1,647,939
経常利益又は経常損失(△)	△942,700	572,722
特別利益		
固定資産売却益	12,746	16,054
投資有価証券売却益	520	3,575
特別利益合計	13,266	19,629
特別損失		
固定資産除売却損	28,679	53,105
投資有価証券売却損	—	4,055
投資有価証券評価損	3,764	8,177
関係会社株式評価損	32,652	—
事業譲渡損	—	94,452
特別損失合計	65,096	159,791
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△994,529	432,560
法人税、住民税及び事業税	433,311	788,908
法人税等調整額	1,058,761	148,173
法人税等合計	1,492,072	937,082
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△504,521
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△518,868	324,428
四半期純損失(△)	△1,967,734	△828,950

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	18,882,416	18,748,709
売上原価	11,258,083	11,571,757
売上総利益	7,624,332	7,176,951
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	795,866	776,340
貸倒引当金繰入額	47,030	—
給料及び賞与	3,341,076	3,222,590
賞与引当金繰入額	251,410	276,821
役員賞与引当金繰入額	—	10,000
製品保証引当金繰入額	38,327	35,668
その他	2,678,227	2,551,446
販売費及び一般管理費合計	7,151,939	6,872,867
営業利益	472,393	304,084
営業外収益		
受取利息	31,173	33,849
受取配当金	38,529	16,220
為替差益	191,330	—
その他	103,709	86,605
営業外収益合計	364,743	136,676
営業外費用		
支払利息	43,791	5,588
売上割引	82,378	182,036
為替差損	—	69,084
持分法による投資損失	949	—
その他	19,777	21,109
営業外費用合計	146,897	277,819
経常利益	690,240	162,940
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	389
固定資産売却益	1,157	13,200
投資有価証券売却益	—	3,315
特別利益合計	1,157	16,905
特別損失		
固定資産除売却損	5,129	23,281
投資有価証券売却損	—	4,055
投資有価証券評価損	—	5,735
関係会社株式評価損	32,652	—
事業譲渡損	—	94,452
特別損失合計	37,782	127,524
税金等調整前四半期純利益	653,615	52,321
法人税、住民税及び事業税	61,489	△60,674
法人税等調整額	231,452	495,302
法人税等合計	292,942	434,628
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△382,306
少数株主利益又は少数株主損失(△)	213,969	△64,142
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146,704	△318,164

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△994,529	432,560
減価償却費	2,104,421	1,804,100
のれん償却額	142,346	45,349
受取利息及び受取配当金	△193,403	△165,969
支払利息	201,199	37,259
為替差損益(△は益)	△254,923	648,751
持分法による投資損益(△は益)	△47,713	—
固定資産売却損益(△は益)	△12,746	—
固定資産除売却損益(△は益)	28,679	37,051
投資有価証券評価損益(△は益)	3,764	8,177
関係会社株式評価損	32,652	—
売上債権の増減額(△は増加)	△128,924	△997,689
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,390,701	△2,935,273
仕入債務の増減額(△は減少)	555,429	2,638,795
その他	76,368	△341,202
小計	4,903,321	1,211,912
利息及び配当金の受取額	200,068	149,576
利息の支払額	△188,462	△49,748
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	453,808	△94,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,368,736	1,217,357
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△990,132	△553,650
定期預金の払戻による収入	1,043,406	62,825
有価証券の取得による支出	—	△121,652
有価証券の売却による収入	7,582	107,732
有形固定資産の取得による支出	△768,436	△735,029
有形固定資産の売却による収入	27,464	31,340
無形固定資産の取得による支出	△261,877	△213,796
投資有価証券の取得による支出	△10,604	△10,588
投資有価証券の売却による収入	1,000	19,607
関係会社株式の取得による支出	△44,500	△76,297
出資金の払込による支出	△142,855	△1,670
長期貸付けによる支出	△2,920	△1,834
長期貸付金の回収による収入	11,080	13,057
その他	480,356	42,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△650,436	△1,437,943
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,718,033	231,485
長期借入れによる収入	—	12,006
長期借入金の返済による支出	△21,860	△40,583
配当金の支払額	△627,701	△535,240
少数株主への配当金の支払額	△601,570	△335,109
その他	△25,234	△20,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,994,400	△688,295
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109,574	△1,531,758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,385,675	△2,440,640
現金及び現金同等物の期首残高	23,078,549	20,401,506
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	133,578	175,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,826,453	18,135,998

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	電子楽器事業	コンピュータ周辺機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	11,391	7,490	18,882	—	18,882
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,391	7,490	18,882	—	18,882
営業利益又は営業損失（△）	△175	647	472	—	472

## (注)1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して、電子楽器事業とコンピュータ周辺機器事業に区分しています。

## 2. 各事業の主要な製品

## (1) 電子楽器事業

電子ピアノ、シンセサイザー、電子ドラム、エフェクター、デジタル・レコーダー、コンピュータ・ミュージック関連機器

## (2) コンピュータ周辺機器事業

プリンター、プロッタ、モデリングマシン

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	電子楽器事業	コンピュータ周辺機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	32,904	21,463	54,368	—	54,368
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	32,904	21,463	54,368	—	54,368
営業利益又は営業損失（△）	△1,627	519	△1,107	—	△1,107

## (注)1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して、電子楽器事業とコンピュータ周辺機器事業に区分しています。

## 2. 各事業の主要な製品

## (1) 電子楽器事業

電子ピアノ、シンセサイザー、電子ドラム、エフェクター、デジタル・レコーダー、コンピュータ・ミュージック関連機器

## (2) コンピュータ周辺機器事業

プリンター、プロッタ、モデリングマシン

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	日 本	北 米	欧 州	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	5,849	5,407	6,147	1,478	18,882	—	18,882
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,361	37	130	19	7,549	( 7,549)	—
計	13,210	5,445	6,278	1,497	26,431	( 7,549)	18,882
営業利益又は営業損失(△)	226	△237	35	143	168	303	472

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：ブラジル、オーストラリア

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	日 本	北 米	欧 州	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	16,532	16,191	18,233	3,410	54,368	—	54,368
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,969	149	448	19	20,586	( 20,586)	—
計	36,502	16,340	18,681	3,430	74,954	( 20,586)	54,368
営業利益又は営業損失(△)	△1,245	△907	△293	167	△2,279	1,171	△1,107

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：ブラジル、オーストラリア

## 【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	北 米	欧 州	その他	計
I 海外売上高	4,982	6,497	3,881	15,360
II 連結売上高				18,882
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.4	34.4	20.5	81.3

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：東南アジア、中南米、豪州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	北 米	欧 州	その他	計
I 海外売上高	15,044	19,311	9,880	44,237
II 連結売上高				54,368
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.7	35.5	18.2	81.4

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米：米国、カナダ

(2) 欧 州：イタリア、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、デンマーク、スペイン

(3) その他：東南アジア、中南米、豪州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。



## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

## ①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は電子楽器、電子機器及びその付属品の開発、製造、販売を主な事業としており、連結子会社であるローランド ディー・ジー・(株)はコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売を主な事業としています。当社グループは、これら製品及びサービス別のセグメントから構成されており、「電子楽器事業」、「コンピュータ周辺機器事業」の2つを報告セグメントとしています。

「電子楽器事業」は、電子楽器、ギター関連電子楽器、家庭用電子楽器、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器等の開発、製造、販売を行っています。「コンピュータ周辺機器事業」は、プリンター、プロッタ、モデリングマシン等の開発、製造、販売を行っています。

## ②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	33,869	24,150	58,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	33,869	24,150	58,020
セグメント利益又は損失(△)	△369	2,171	1,802

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	10,879	7,869	18,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,879	7,869	18,748
セグメント利益又は損失(△)	△183	487	304

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## (6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。